

令和7年8月10日(日)～11日(月)間における 豪雨対応の振り返り(AAR)

【 目 的 】

九州北部を襲った線状降水帯の発生に伴う豪雨への対応を振り返り、課題を明らかにするとともに教訓を案出し、今後の対応及び地域防災計画(タイムライン等)の修正の資とする。

【 項 目 】

I 8月10日(日)15時の気象情報

II 10日(日)から11日(月)間のクロノロジー及び課題

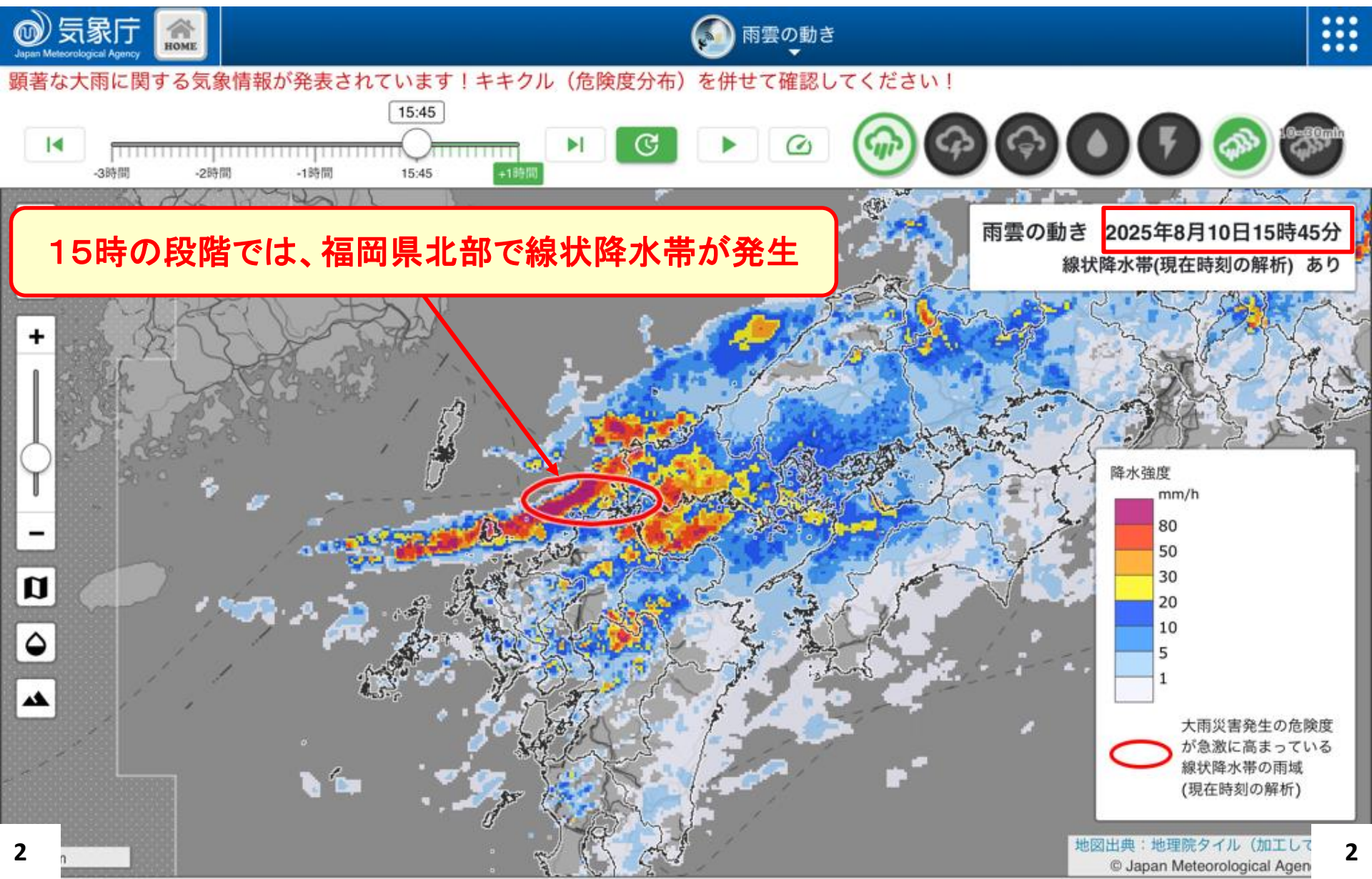
- ① 10日(日)15時の状況判断、22時以降の第一警戒体制の設置の適否
明るい内(18時頃まで)の高齢者避難の発令すべきだったか？

⇒タイムライン(重視する気象情報)の検討

- ② 10日(日)21時29分、振興局長からの情報提供後の対応の適否
高齢者等避難発令まで約1時間半、もっと早く(1時間以内)発令出来なかったか？

⇒情報の収集・共有及び協議要領の検討

I 8月10日(日)15時の気象情報



大雨に関する気象解説資料 8月11日にかけての大雨について

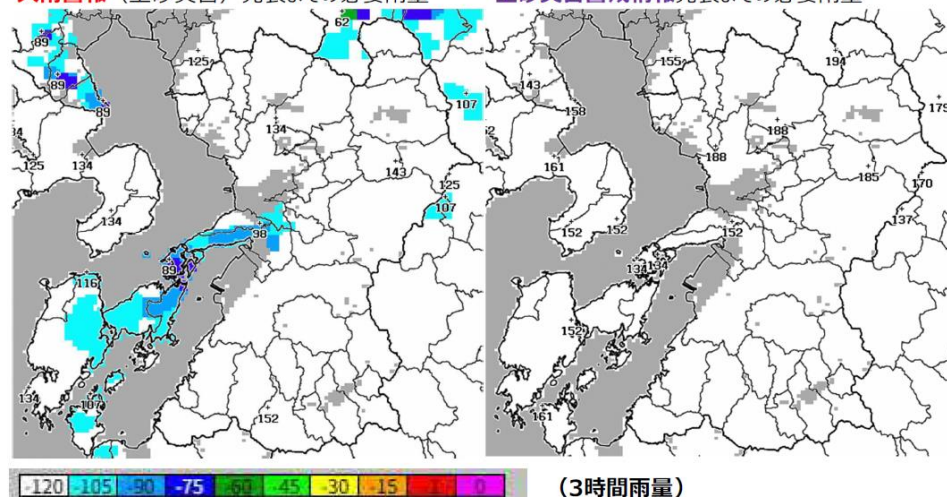
令和7年8月10日15時
熊本地方気象台

大雨警報(土砂災害)等までの必要雨量

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological office
※最新の資料に更新
(10日15時現在)

大雨警報(土砂災害)発表までの必要雨量

土砂災害警戒情報発表までの必要雨量



※ 防災支援のための資料ですので、報道等への利用はお控えください。

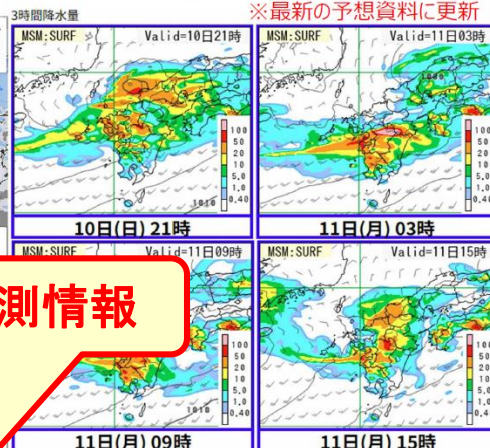
4

予想天気図(明日まで)

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological office

※最新の予想資料に更新

雨雲の動き 2025年8月10日15時00分
線状降水帯(現在の撮影)あり
線状降水帯(10~30分先の撮影)あり



線状降水帯発生予測情報

11日夕方にかけて、非常に激しい雨が降り、激しい雨が降り、大雨となる見込み。
10日夜のはじめ頃から11日朝にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まるおそれがある。

5

雨の予想

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological office

※最大24時間降水量の予想対象時間帯を更新

	最大1時間降水量 (ミリ)		最大24時間降水量 (ミリ)	
	10日 (日)	11日 (月)	10日18時 ~11日18時まで	11日18時 ~12日18時まで
熊本地方	50	50	200	100
阿蘇地方	50	50	200	100
天草地方	40	50	200	80
芦北地方	40	50	200	80
球磨地方	30	40	200	80

※ 防災支援のための資料ですので、報道等への利用はお控えください。

3

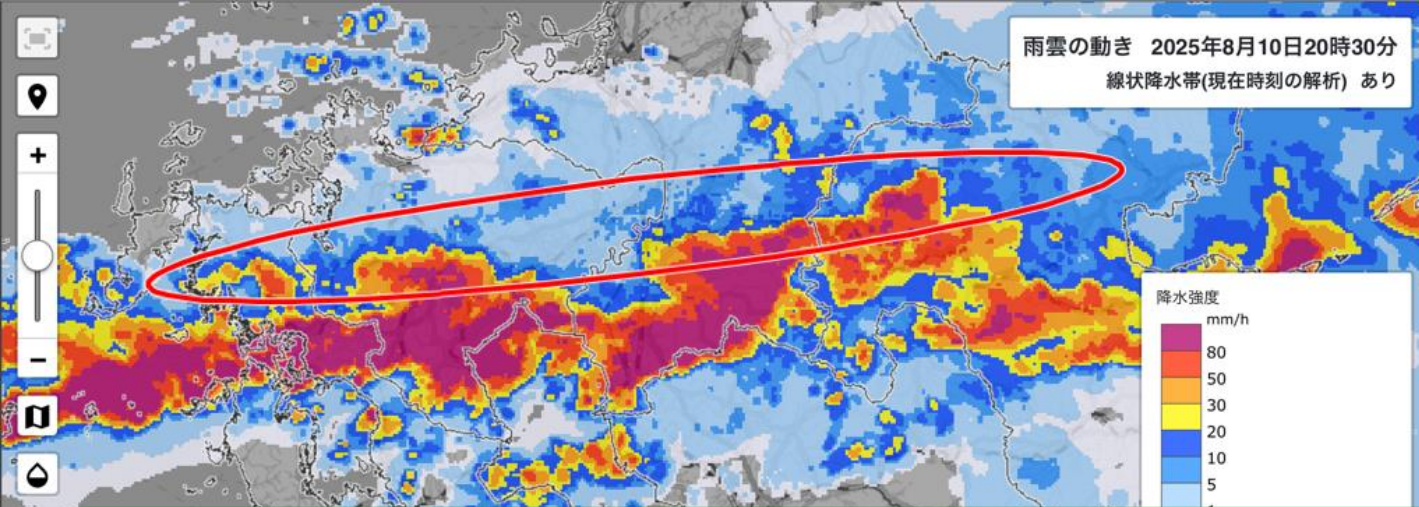
注意・警戒期間

※注意・警戒期間のみ更新（降水量は更新なし）

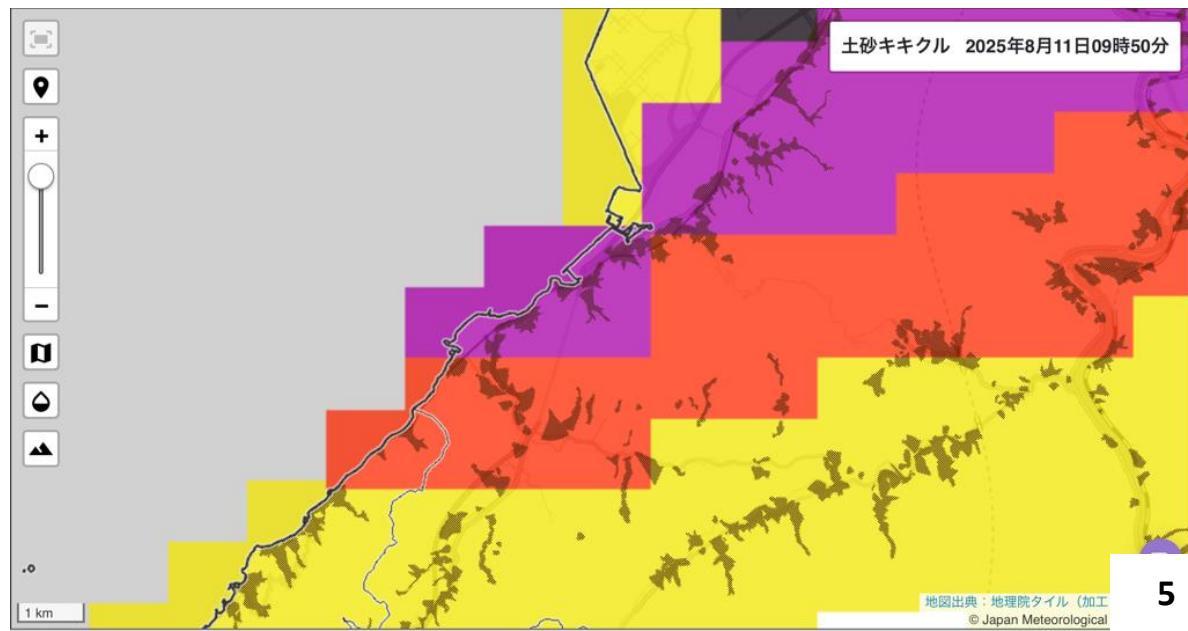
		10日(日)				11日(月)							
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	00-03時	03-06時	06-09時	09-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く
熊本地方	警報級の可能性（大雨）	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[高]	[高]	[高]	[高]	[中]	[中]
	1時間最大降水量（ミリ）	40	40	40	50	50	50	50	40	40	30	20	10
	浸水												
	土砂												
	洪水												
阿蘇地方	警報級の可能性（大雨）	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[高]	[高]	[高]	[中]	[中]
	1時間最大降水量（ミリ）	40	40	40	50	50	50	50	40	40	30	20	10
	浸水												
	土砂												
	洪水												
天草地方	警報級の可能性（大雨）	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[高]	[高]	[高]	[中]	[中]
	1時間最大降水量（ミリ）	30	30	30	40	50	50	50	40	40	30	20	10
	浸水												
	土砂												
	洪水												
芦北地方	警報級の可能性（大雨）	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]
	1時間最大降水量（ミリ）	30	30	30	40	50	50	50	40	40	30	10	10
	浸水												
	土砂												
	洪水												
球磨地方	警報級の可能性（大雨）	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]	[中]
	1時間最大降水量（ミリ）	30	30	30	30	40	40	40	40	40	30	10	10
	浸水												
	土砂												
	洪水												

警戒期間
 注意期間

※ 防災支援のための資料ですので、報道等への利用はお控えください。



Ⅱ 10日(日)から11日(月)間の クロノロジー及び課題



10日(日)～11日(月)の間のクロノロジー及び対応の課題

月 日(曜)	時 間	対 応 内 容
8月10日(日)	16:00	15時の気象台解説情報資料に基づき(15:34配信)22時以降、第一次警戒配備(警戒準備)を設置するとともに真夜中でも避難所が開設できる様に備える旨のメールを関係職員に配信
	19:30	防災監出勤
	20:00	防災監が気象台ホットライン(固定電話)で15時以降の気象予報の見立てに変化がないことを確認
	21:00	
	21:29	振興局長が防災監へ(携帯電話)「芦北町付近まで雲域が南下する可能性がある。」旨の連絡受け。 防災監が振興局長へ「それは予報が修正されたのか？」と質問し「その通り。」との返答
	21:30	防災監が気象台のホットライン(固定電話)に予報が修正された旨を確認するが、「予報官が現在取り込んでいるため返答できない」との返答
		21:30以降、危機管理防災室の江口参事、平木主事、総務課長が逐次出勤 防災監⇒総務課長へ局長からの情報提供を報告し、現在気象台に問い合わせ中の旨を報告
	22:00	防災監から気象台のホットライン(携帯電話)で予報官から「芦北町まで現在の雲域が南下する可能性は、五分五分」の旨を確認 ⇒総務課長へ報告
		第一次警戒配備(警戒準備)設置
	～	防災監が総務課長に避難情報の発令及び避難所の開設について意見具申 ①警報等(L3)の発表を待たず速やかに高齢者等避難を発令し、指定避難所5ヶ所を開設 ②高齢者等避難を発令せず土砂警(L4)の発表を待って避難指示を発令し、指定避難所5ヶ所を開設 それぞれの利点・欠点を総務課長と協議 総務課長は①に賛同し、副町長及び町長へ電話連絡
	22:12	防災監が球磨村防災管と気象情報の修正及び今後の対応に関する情報共有(携帯電話) 球磨村防災管から「高齢者等避難及び避難所開設を進めている。」との情報提供 ⇒総務課長へ球磨村の状況を報告 ※球磨村は23時「高齢者等避難を発令」
	22:13	防災監が水俣市の危機管理監と気象情報の修正及び今後の対応に関する情報共有(携帯電話)
	22:18	防災監から振興局長へ「避難情報を発令し、指定避難所を開設する方向で検討中」の旨を伝達
	22:25	二次警戒体制配置要員(警戒本部)の非常呼集及び避難所開設要員に避難所の開設を指示
	22:55	高齢者等避難の発令・指定避難所5ヶ所の開設・第二次警戒体制(警戒本部)設置

10日(日)～11日(月)の間のクロノロジー及び対応の課題

月 日(曜)	時 間	対 応 内 容
8月10日(日)	22:56	防災監が振興局長へ「22:55高齢者等避難の発令・指定避難所5ヶ所の開設」を通報 高齢等避難発令後、副町長出勤
	23:30	気象台Web会議常時開設開始
8月11日(月)	01:28	防災監が球磨村防災管と現在の相互の状況について情報共有
	01:50	防災監が陸上自衛隊西方特科連隊第1大隊へ芦北町の現在の状況を通報
	03:53	陸上自衛隊西方特科連隊第1大隊が防災監へ現在の芦北町の状況を確認
	08:27	気象台が防災監へ「芦北町の今後の気象の悪化の可能性は低い、田浦地区の一部(井牟田)の降水量が大雨警報(土砂災害)発表の指数に達したので警報を発表する。」旨を連絡
	08:29	熊本地方気象台「大雨警報(土砂災害)」を発表
	～	気象台ホームページ(キキクル)の気象情報から今後、芦北町における更なる天候の悪化及び土砂災害等の発生の可能性が低いことを継続的に確認
	12:00	警戒レベル3 高齢者等避難を解除・第二次警戒配備(警戒本部)を閉所・指定避難所4ヶ所閉鎖
	12:30	避難所1ヶ所閉鎖
	14:20	大雨警報(土砂災害)解除

【 対応の課題 】

- ① 10日(日)15時の状況判断、22時以降の第一警戒体制の設置の適否
 明るい内(18時頃まで)の高齢者避難の発令すべきだったか？
 ⇒タイムライン(重視する気象情報)の検討
- ② 10日(日)21時29分、振興局長からの情報提供後の対応の適否
 高齢者等避難発令まで約1時間半、もっと早く(1時間以内)発令出来なかったか？
 ⇒情報の収集・共有及び協議要領の検討

- ① 10日(日)15時の状況判断、22時以降の第一警戒体制の設置の適否
明るい内(18時頃まで)の高齢者避難の発令すべきだったか？

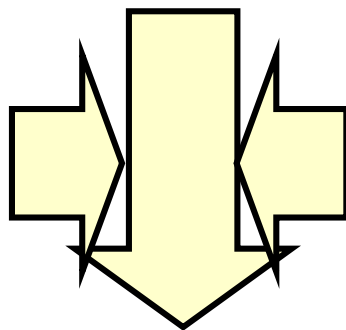
⇒タイムライン(重視する気象情報)の検討

【 考察の前提:15時の気象解説資料 】

- 高齢者等避難発令に資する気象情報(大雨警報等(L3))
発表:無し
- 明るい内の高齢者等避難発令に資する大雨警報等(L3)以外の気象情報
 - 警報(L3)発表の可能性【高】:無し
 - 予想降水量50mm/h・200mm/24h:有
 - 線状降水帯発生予測情報:熊本県内に有(10日の夜のはじめころ～11日の朝)

【気象台ホットライン情報】

福岡県内に発生している前線の
影響による雲域が芦北町(県南)ま
で下がってくる可能性は低い。



【これまでの町の対応】

警報(L3)発表前でも明るい内に
高齢者避難を発令する最も重視し
ていた情報は、警報発令の可能性
【高】

【 結 論:情報の重視度(今後の町の対応(案)) 】

警報(L3)発表の可能性【高】=予想降水量50mm/h・200mm/24h+線状降水帯発生予測情報(熊本県)とし、**どちらかの情報が発表されたならば、明るい内に高齢者等避難の発令を検討**(※発表される時間帯、累積雨量、気象台のコメント等を勘案して)する。

芦北町タイムライン(整備中)

タイムラインステージ			ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	ステージ5	ステージ6
警戒準備～災害対策本部			警戒準備～災害注意本部		災害対策本部			
				災害警戒本部				
各防災関係機関との連携					LO(警察・消防・自衛隊) 派遣要請		対処部隊 派遣要請	・人命救助 ・応急対策
避難情報の発令			予防的自主避難		避難指示(L4)			
				高齢者等避難(L3)			緊急安全確保(L5)	
ステージ移行基準(トリガー)	気象情報	気象予警報	注意報級	警報【高】	警報級	危険警報級		特別警報級
		線状降水帯	線状降水帯発生予測情報		線状降水帯発生情報			
		予想降水量	50mm／h200mm／24h					
		降水量			50mm／h			
		台 風	暴風圏内ー24h～ー12h		暴風圏内ー12h～ー6h			
		津 波			注意報・警報・大津波警報			
	球磨川水位 大野観測所		消防団待機L1	氾濫注意L2	避難判断L3	氾濫危険L4	計画高水位L5	
			6. 50m	8. 00m	10. 90m	12. 20m	14. 81m	
	田浦川・小田浦川・佐敷川・湯浦川 キキクル洪水危険度分布		注 意 (黄)		警 戒 (赤)	危 険 (紫)	災害切迫 (黒)	
	市房ダム		洪水警戒体制	洪水調整放流	貯水能力半分情報		緊急放流	
土砂災害	キキクル土砂災害 危険度分布	注 意	警 戒	危 険		災害切迫		
	累加雨量	200mm		今後予想200mm以上				
各課の行動等			警戒体制の確立 ○総務課・建設課・健康福祉課 ○各関係機関との情報共有			災害対策本部の設置 ○全 課 ○各関係機関との対応		
消 防 団			水防・広報巡回・避難行動支援			水防活動等、災害対応準備		
自主防災組織			水防・避難行動支援		避難所開設・運営支援			

河川氾濫発生

土砂災害発生

・人命救助
・応急対策

河川氾濫
発生

土砂災害
発生

・人命救助
・応急対策

② 10日(日)21時29分、振興局長からの情報提供後の対応の適否
高齢者等避難発令まで約1時間半、もっと早く(1時間以内)発令出来なかったか？
⇒情報の収集・共有及び協議要領の検討

月 日(曜)	時間	対応内容
8月10日(日)	16:00	15時の気象台解説情報資料に基づき(15:34配信)22時以降、第一次警戒配備(警戒準備)を設置するとともに真夜中でも避難所が開設できる様に備える旨のメールを関係職員に配信
	19:30	防災監出勤
	20:00	防災監が気象台ホットライン(固定電話)で15時以降の気象予報の見立てに変化がないことを確認
	21:00	
	21:29	振興局長が防災監へ(携帯電話)「芦北町付近まで雲域が南下する可能性がある。」旨の連絡受け。 防災監が振興局長へ「それは予報が修正されたのか?」と質問し「その通り。」との返答
	21:30	防災監が気象台のホットライン(固定電話)に予報が修正された旨を確認するが、「予報官が現在取り込んでいるため返答できない」との返答 21:30以降、危機管理防災室の江口参事、平木主事、総務課長が逐次出勤 防災監⇒総務課長へ局長からの情報提供を報告し、現在気象台に問い合わせ中の旨を報告
	22:00	防災監から気象台のホットライン(携帯電話)で予報官から「芦北町まで現在の雲域が南下する可能性は、五分五分」の旨を確認 ⇒総務課長へ報告 第一次警戒配備(警戒準備)設置
	~	防災監が総務課長に避難情報の発令及び避難所の開設について意見具申 ①警戒等(L3)の発表を待たず速やかに高齢者等避難を発令し、指定避難所5ヶ所を開設 ②高齢者等避難を発令せず土砂警(L4)の発表を待って避難指示を発令し、指定避難所5ヶ所を開設 それぞれの利点・欠点を総務課長と協議 総務課長は①に賛同し、副町長及び町長へ電話連絡
	22:12	防災監が球磨村防災管と気象情報の修正及び今後の対応に関する情報共有(携帯電話) 球磨村防災管から「高齢者等避難及び避難所開設を進めている。」との情報提供 ⇒総務課長へ球磨村の状況を報告 ※球磨村は23時「高齢者等避難を発令」
	22:13	防災監が水俣市の危機管理監と気象情報の修正及び今後の対応に関する情報共有(携帯電話)
	22:18	防災監から振興局長へ「避難情報を発令し、指定避難所を開設する方向で検討中」の旨を伝達
	22:25	二次警戒体制配置要員(警戒本部)の非常召集及び避難所開設要員に避難所の開設を指示
	22:55	高齢者等避難の発令・指定避難所5ヶ所の開設・第二次警戒体制(警戒本部)設置

高齢者等避難の発令まで約1時間半

【今回の情報の収集・共有要領】

- 防災監督の携帯電話により収集
- 防災監の口頭により共有

【今回の協議要領】

- 防災監が小川係長と協議後、防災監が総務課長と協議

【今後の情報の収集・共有要領(案)】

- 情報収集: Web会議開設前は、1対1の電話で情報を収集せずスピーカー・マイクが活用できる電話を活用して情報を収集
⇒情報収集の漏れ及び受けた情報の誤認識・不理解を防止
- 情報共有: 訓練と同じく、マイクとスピーカーで総務課執務室内の全員で情報を共有
⇒総務課執務室内の警戒配備職員全員で情報を共有

【今後の協議要領(案)】

- 避難情報の発令に関しては、総務課長、防災監、危機管理防災室の要員と一同に会して協議する。
⇒意思の決定及び事後の職員への伝達(メール配信等)の迅速化

情報の変化に基づく、避難情報の発令は、1時間以内を追求